

手話言語条例の取り組みと
デフリンピックホストタウンまでの過程

埼玉県三芳町長 林 伊佐雄





埼玉県三芳町

【武蔵野の落ち葉堆肥農法】令和5年7月5日 FAOにより世界農業遺産に**認定**



あいサポート運動推進に関する連携協定の締結及び手話言語条例制定



2014年10月16日

「あいサポート運動推進に関する連携協定」の締結

平井鳥取県知事（写真中央）

星野前富士見市長（写真右）



2015年12月10日

三芳町手話言語条例制定

東京2020大会でマレーシアの共生社会ホストタウン

マレーシアパラリンピック委員会と事前キャンプ実施協定

大会機運を盛り上げる多くの住民交流イベントを実施



金
3



銀
2



埼玉県三芳町

東京2025デフリンピック競技大会マレーシアのホストタウン **(全国初)**

マレーシア・デフスポーツ協会と事前キャンプ実施に関する協定を締結
2023年9月25日



マレーシア・デフスポーツ協会のオン・シン・ルエン会長(左から4人目)と調印を交わす。



第4回ろう者サッカー世界選手権大会の日本女子代表戦を視察

(写真左)

日本ろう者サッカー協会 代表理事 野呂 啓 氏

東京2025デフリンピック競技大会交流事業計画

デフリンピアンとの交流事業のほかに芸術文化を通じて世界をつなぐ



姉妹都市パタリンジャヤ市に在住のろう者で、
バティックアーティストのリム・アヌア氏



リム氏の作品が路上に描かれているショッピング
モールを見学